

2015年第2回定例会の経験のまとめ

2014年7月2日（水）議運にて

会派・希来里 奴間健司

（1）全体的なまとめ

- ①結城議長のもとでの初めての定例会であった。専決の承認、緑地緩和の新規条例、給水区域拡大に伴う水道条例改正、弓道場の廃止条例、地方創生先行型を活用した一般会計補正予算など市長提案の議案はすべて可決した。安保法制の慎重審議を求める議員提案の意見書は否決された。
- ②改選後初めての常任委員会であることから、会期中の委員会では、各課の自己紹介と主な業務内容の説明を受け、所管事務調査をおこなった。そのあと付託議案の審議を行った。審議のあり方もいろいろ良い経験となった。
- ③14人が一般質問を行った。新人議員5人が質問した。いろいろ良い経験となった。結果を精査し、政策資源としてフォローすることも大切である。今回初めて書画カメラを活用しグラフ等をモニターに映したことは良かった。インターネット中継・録画ではわかりやすいと市民の声があった。
- ④一般質問の第1答弁が、一般質問終了後にPDFファイルで議員に提供されたことは良かった。

（2）初日の本会議

- ①監査報告に対する質疑。吉住議員が質疑。還付手続きの誤りについて。
執行部の是正措置の確認は所管委員会でフォローする必要もある。
- ②改選後初の定例会なので、閉会中の所管事務調査報告はなかった。
- ③市長は49号議案の説明の中で、「繰上」とすべきところを「繰越」と読んだため訂正を求める発言をした。議長は許可した。

（3）二日目の本会議

- ①報告第6号に内場議員、第48号に内場議員が質疑した。専決の承認を求める3議案は賛成全員で承認した。
- ②各議案に対する大綱質疑を行った。
第50号議案（緑地緩和）に内場、村松、古賀の3議員が大綱質疑した。
第53号議案（水道条例）に内場、田中の2議員が大綱質疑した。
第55号議案（一般会計補正）に奴間が大綱質疑した。
※奴間は本会議終了後、大綱質疑に対する第1答弁書の提出を要求した。16日の朝、議長から難色を示されたが、その日の14時になって提出された。
- ③補正予算特別委を開催し、委員長に松島岩太議員、副委員長に奴間健司を選出した。資料請求を決定。文書回答が配布された。

（4）会期中の常任委員会、特別委員会

- ①改選後初めての常任委員会であるため、各委員会では各課の自己紹介と今年度の主な業務について資料提出、説明を受け所管事務調査を行った。この調査結果の報告をどうする

かは検討が必要である。議会トピックスに概要を掲載するのも一つの案である。

所管事務調査のあと、それぞれ付託議案の審議を行った。

②総務委員会を開いた。(6月16日)総合戦略の説明があることから議員9人が傍聴した。まち・ひと・しごと総合戦略策定について業務委託仕様書を資料請求した。(請求は村松議員)

第58号議案を審議し、賛成全員で可決した。

③文教厚生委員会を開催した。(6月17日)所管事務調査では、福祉課4人、予防健診課5人、子育て支援課6人、教育総務課3人など活発な質疑があった。

第51号議案には内場議員が質疑。賛成全員で可決。

第52号議案には内場、平木、伊東、福崎、阿部の5人が質疑。賛成全員で可決。

第54号議案には、奴間健司が委員外議員の申し入れを行い、委員会は許可した。内場、阿部の2議員の質疑のあと奴間が質疑した。賛成全員で可決した。補助金活用の施設の廃止に関する手続きの経過を明らかにできた。

条例案の審議とはどうあるべきかを改めて検証し、充実した議案審議となるよう改善・努力していくことが望まれる。

④市民建産委員会を開催した。(6月18日)所管事務調査では、環境課についてアンケートの提出を求めた。説明資料があまりにも不足していた。地方創生先行型の補助金活用については総務部長がKPIを設定していると答弁していたが、空き家・空き地実態調査では検討中であることがわかった。この調査に関する業務委託仕様書の資料請求を行い提出させた。水再生センターにおけるメタンガス発電の可能性については職員の提案書の審査で合格すれば8月以降に業務委託することになっていることがわかった。

第50号議案には古賀、奴間、松島の3議員が質疑した。賛成全員で可決。

※対象面積は65haでその25%は16ヘクタール。緩和率15%に相当する面積は2ヘクタール。こうした基礎数字を明らかにする質疑が大切であると感じた。

第53号議案には、奴間が質疑した。

※給水区域拡大に伴い、給水人口は1700人、給水量は316m³/日増加する。

※給水の水源は表流水5500t、受水11600tの計17100tであることを確認した。賛成全員で可決。

第59号議案は賛成全員で可決した。賛成全員で可決。

③補正予算審査特別委員会を開催した。(6月19日)

第55号議案(一会)では、田中、阿部、吉住、村松、伊東、内場、奴間の7人が質疑。地方創生先行型のWiFi、それぞれのKPI、枠の残りなどについて質疑があった。賛成全員で可決。

第56号議案(介護)では、内場議員が賛成討論を行い、賛成全員で可決。

第57号議案(農排水)は賛成全員で可決。

(5) 一般質問

①6月22日は5人、23日は5人、24日は4人、計14人が一般質問を行った。新人は5人であった。

②一般質問に関する反省点は以下のとおり。

ア) 議長が「通告に沿って質問するように」と何回か口述したのはなにか理由があるのか疑問であった。

イ) 西鉄に乗っているかどうかを議場にいる人に問うことは良くなかったと思う。

ウ) 常任委員会の所管事務調査で質疑すれば良いものがあった。

エ) 同時選挙というテーマは一般質問で取り上げるものかどうか疑問を感じた。その理由は、議会の自主解散に関する特例法があり、議員数の4分の3以上の者が出席し、その5分の4以上の者の同意をもって議会の解散議決を行えると定められているからである。特例法の趣旨からすれば、議会の自主的な意思決定権が付与されており、それを選管委員長や市長に一般質問で問うのは疑問がある。「世論作り」という「目的」しか感じられなかった。

オ) 第1質問で通告書にないものを質問することは良くなかった。

カ) 「ありがとうございます」はよくないので改善、工夫が望ましい。

キ) マイクの音がやや小さく、聞き取りにくいことがあった。

③書画カメラを活用し、グラフや写真をモニターに映し出せたことは良かった。質問者は切り替えなどについて口述することが大切。

④今回から第一答弁がPDFファイルでグーグルドライブにアップされたことは良かった。

⑤一般質問を通じて、以下のような政策的な課題が浮き彫りになった。

ア) イオン撤退と買い物弱者対策

イ) 千鳥駅東口のロータリー整備の遅れ

ウ) 自治基本条例の意義（市民の意識改革を求めるのか、市長等の責務を定めるのか）

エ) 水道料金30%値下げの公約とその実現の可能性や時期

オ) 公共交通に関する要求と「基幹交通と補完的手段（お出かけサポート・タクシー）の組み合わせ」という市長の見解

カ) 安保法案に関する質疑に、「国防のため命をかけ戦わないとしたら自衛隊ではない」という市長答弁の問題点。国会での議論と現職市長の憲法擁護責務。

キ) 公民館等でのAED設置について「自主防災の資機材購入補助で対応して欲しい」という答弁の問題点。

ク) スポーツ実施率（1週間に1回以上）の目標について、古賀市の50%と宗像市の65%の差について。

ケ) 公共交通に関し、「高齢者は中心地に移住し居場所を作る対策も必要。公共交通だけで交通弱者の希望をかなえることは難しい」という市長答弁の問題。交通権や移動の自由を理解していないと思われる答弁であり、実現の可能性も疑問。

コ) 地方創生総合戦略の関係で実施したアンケートは総務部だけの判断だけで行われたことがわかったが、これは問題である。

サ) 人口ビジョンに対する市長の見解は庁議等で議論が不足していることを示している。人口目標（65000人）を「ちょっと大きいかなと思う」と市長は答弁したが、人口目標を含む基本構想は議決対象である。

シ) 2025年の介護給付費・介護保険料推計について早急に議論を行うことが求められている。

(6) 最終日の本会議

①第58号議案の採決時に、平木議員の押しボタンシステムの不具合が発生した。休憩におとして回復させることができたが、原因究明と再発防止策が必要だ。

②討論について。

第51号議案：内場議員（通告外）

第54号議案：奴間（通告）

第50号議案：奴間、吉住議員（通告）、伊東議員（通告外）

第53号議案、第55号議案：吉住議員（通告）

③第60号議案が追加提出された。（提出議員：田中英輔、賛成議員：阿部友子、村松謙二、内場恭子）

質疑：姉川議員が提出議員に質疑した。

反対討論：井之上議員、岩井議員

賛成討論：村松議員、伊東議員、内場議員

採決：賛成8人、反対10人で否決。

(7) 全体的な検討課題、反省点

①条例の改正、制定、廃止における質疑のあり方をあらためて研究することが求められている。

②一般質問の基本的なルールを今回の経験を踏まえながら確認することが望まれる。

③一般質問をより効果的なものとするよう、皆で経験を学び、お互いに切磋琢磨していきけるよう意識的に努力していきたいと思う。

④意見書の追加提案は会派代表者会議での投げかけを踏まえ、また国会での最大の争点であることから大きな意義があった。同様の趣旨の意見書が粕屋郡内では賛成全員で可決されていることを考えると残念な結果であった。

(8) 今後の議会運営に対する要望

①インターネット議会中継・録画をスマホや iPad でも見られるよう改善することは前期からの継続課題である。今年度中からでも改善されるよう議会として取り組むべきである。予算措置が伴うことであれば、議会事務局で精査し、市長に要求すべきである。

②会派・希来里は6月定例会最終日に地方創生総合戦略について特別委員会を設置することを提案してきた。全員協議会の協議を踏まえ9月議会まで先送りしたが、7月、8月に執行部が「骨子案」などを提示する場合は、全員協議会の場で説明させるよう求める。また、総合戦略計画については議会基本条例を改正し議決事件に追加することも会派代表者会議で投げかけた。各会派においてぜひ検討するよう改めて呼びかける。

③政策課題別について、職員を講師とする議員研修会を企画したほうが良いと思う。当面、健康づくりと介護、市の財政の現状などから着手することを提案する。

④欠席要件に出席を追加する会議規則の改正について、8月5日の次回議運で協議することを確認した。介護をさらに追加することを提案した。